

# 中丹の授業スタンダード — 単元のゴールを意識した授業構想を! —

参考様式

## 〇〇科学習指導案

指導者名 〇〇 〇〇

- 1 対象 第〇学年〇組 〇〇名
- 2 日時 令和〇年〇月〇日 〇曜日 第〇校時 〇 : 〇 ~ 〇 : 〇
- 3 場所 〇年〇組教室、〇〇場、〇〇実習室等
- 4 単元(題材)名・教材名
- 5 単元(題材)指導計画
  - 第1時
  - 第2時
  - 第3時
  - 第4時(本時)
  - 第5時【単元のゴール】
- 6 本時の目標
- 7 本時の展開 (〇/〇)

★ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、**単元や題材など内容や時間のまとまり**を見通しながら、**単元や題材末に何ができるようになるかというゴールの姿**を児童生徒と教師が共有し、学習・指導を進めることが重要です。

★ **単元のゴール、単元目標、単元全体の流れ**を理解し意識すると、1単位時間で身に付けさせたい資質・能力を明確にしたり、前時までに身に付けた知識や技能を活用させたりしようとする意識が強くなり、授業の質を向上させることができます。

※5 単元(題材)指導計画…1単元を全5時間で行い、本時が第4時である場合の計画例

- ・【単元のゴール】には、**単元目標を達成した子どもの姿(ゴール)**を簡潔に記述します。
- ・第1～4時には、**ゴールや各単位時間相互のつながり**を踏まえて授業をイメージしたうえで、各時間の目標を記します。

過程	指導内容	学習活動	指導形態	指導上の留意点	教材・ 教具等	評価 (評価の観点) (評価方法)
導入 〇分	<b>導入の工夫</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学習の見通し(目指す姿)を持てるねらいの提示</li> <li>◆ 考える必然性や活用を意識した課題の設定</li> </ul>		
展開 〇分	<b>自力思考(表現)の場の設定</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 既習事項を根拠に見通しを持ち、筋道立てて思考する場面の設定</li> <li>◆ 思考を整理・表出するための書く活動の重視</li> <li>◆ 考えを説明するために必要なもの(表・図等)の活用</li> </ul>		
	<b>考えを伝え合い、学び合う場の設定</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 根拠となる既習事項や理由を明らかにし、筋道立てて説明する活動の重視</li> <li>◆ 課題解決の過程において必要な考え方の理解を深める発問や切り返しの工夫</li> </ul>		
	<b>学びを確かなものにする場の設定</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学びを活かす活動(練習問題や解決過程の説明)の設定</li> <li>◆ 授業のねらいに合わせた活動内容・学習形態の工夫</li> <li>◆ 知識及び技能を習得したことを自覚させる活動の設定</li> </ul>		
まとめ 〇分	<b>振り返りの質の向上</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 解決の過程を振り返り、新たな気づきを整理して、書きまとめる活動の設定</li> <li>◆ 自分の思考や行動を客観的に把握し認識する活動の工夫</li> </ul>		

### 指導者による授業評価

- ◆ 本時のねらいに対する児童生徒の理解の状況を、授業中の様子や振り返りの記述、ワークシート等から振り返る。
- ◆ 単元のまとまりのなかで、本時が単元のゴールに向かう授業であったかを確認し、次時の学習活動等の指導への調整を図る。

発行:令和2年3月